

令和元年度 男女共同参画社会に関する県民意識調査

集計結果(速報)

1 調査の概要

- (1) 調査対象：高知県全域の満 18 歳以上の県民 2,000 人
- (2) 対象者の抽出方法：層化二段階無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送法
- (4) 調査委託先：株式会社トミーコーポレーション
- (5) 調査期間：令和元年 10 月 29 日（火）～11 月 15 日（金）までの 18 日間
- (6) 有効回収数：964 人（有効回収率 48.2%）
 ※過去の回収率 H26：50.8%、H21：57.1%、H16：40.0%

2 調査対象者の属性

F 1 あなたの性別は（1つだけ〇印）

(回答者数 964 人)

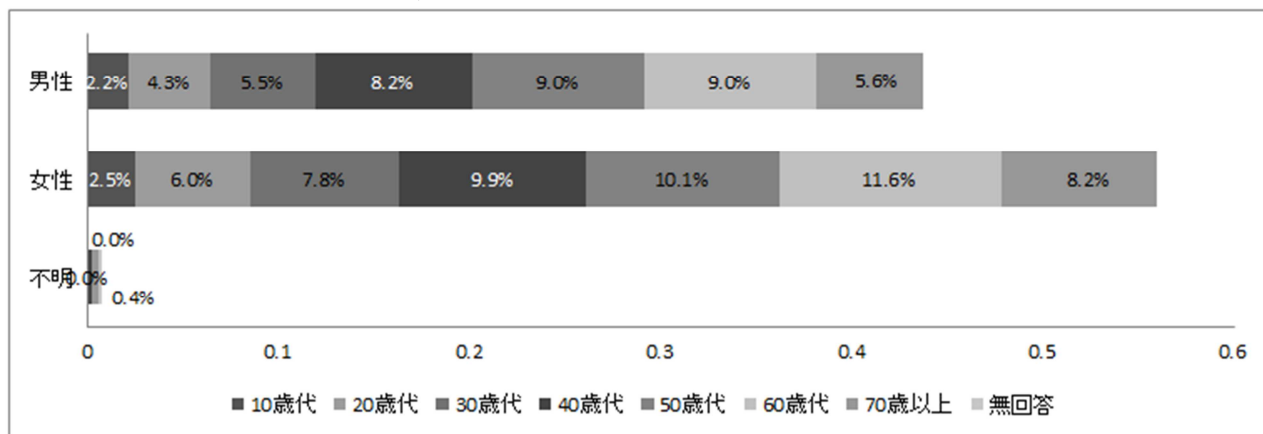
	選択肢	回答数	回答比率
1	男	422	43.8%
2	女	540	56.0%
3	その他	0	0.0%
4	無回答	2	0.2%

F 2 あなたの年代は（1つだけ〇印）

(回答者数 964 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	10 歳代	45	4.7%
2	20 歳代	99	10.3%
3	30 歳代	128	13.3%
4	40 歳代	174	18.0%
5	50 歳代	184	19.1%
6	60 歳代	199	20.6%
7	70 歳以上	133	13.8%
8	無回答	2	0.2%

図1 男女別・年代別回答者内訳



F 3 あなたの従業上の地位は（1つだけ○印）

（回答者数 964 人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	会社などに雇用されている方	522	54.1%
2	自営業主	84	8.7%
3	家族従業者（自営業主の家族で、その自営業に従事している者）	63	6.5%
4	無職（主婦、主夫、学生を含む）	284	29.5%
5	無回答	11	1.1%

F 3-1 F 3で1～3を選んだ方におたずねします。

あなたのお仕事の内容は（1つだけ○印）

（回答者数 669 人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	管理職	58	8.7%
2	専門・技術職	185	27.7%
3	事務職	126	18.8%
4	販売・サービス・保安職	163	24.4%
5	農林漁業職	49	7.3%
6	生産・輸送・建設・労務職	79	11.8%
7	無回答	9	1.3%

F 3-2 F 3で「1. 会社などに雇用されている方」を選んだ方におたずねします。

あなたの雇用形態は（1つだけ○印）

（回答者数 522 人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	役員	21	4.0%
2	正規の職員・従業員	313	60.0%
3	非正規の職員・従業員（契約社員、労働者派遣事業所の派遣社員を含む）	179	34.3%
4	無回答	9	1.7%

F 4 あなたは結婚していますか。（1つだけ○印）

（回答者数 964 人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	結婚している	584	60.6%
2	結婚していない	357	37.0%
3	結婚していないがパートナーと暮らしている	11	1.1%
4	無回答	12	1.2%

F 5 F 4で「1. 結婚している」と答えられた方におたずねします。

あなたは夫婦共働きですか。（1つだけ○印）

（回答者数 584 人）

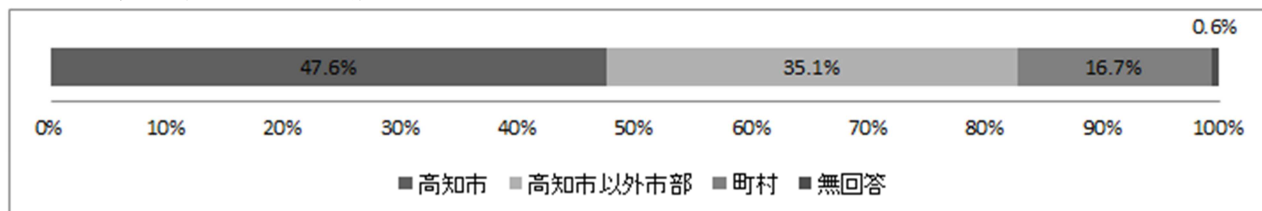
	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	339	58.0%
2	いいえ	242	41.4%
3	無回答	3	0.5%

F 6 あなたの住んでいる市町村は（1つだけ○印）

（回答者数 964 人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	高知市	459	47.6%
2	室戸市	17	1.8%
3	安芸市	22	2.3%
4	南国市	67	7.0%
5	土佐市	24	2.5%
6	須崎市	37	3.8%
7	宿毛市	22	2.3%
8	土佐清水市	17	1.8%
9	四万十市	44	4.6%
10	香南市	50	5.2%
11	香美市	38	3.9%
12	東洋町	3	0.3%
13	奈半利町	2	0.2%
14	田野町	4	0.4%
15	安田町	4	0.4%
16	北川村	3	0.3%
17	馬路村	1	0.1%
18	芸西村	2	0.2%
19	本山町	6	0.6%
20	大豊町	8	0.8%
21	土佐町	10	1.0%
22	大川村	1	0.1%
23	いの町	27	2.8%
24	仁淀川町	12	1.2%
25	中土佐町	6	0.6%
26	佐川町	17	1.8%
27	越知町	3	0.3%
28	梶原町	4	0.4%
29	日高村	3	0.3%
30	津野町	7	0.7%
31	四万十町	20	2.1%
32	大月町	6	0.6%
33	三原村	1	0.1%
34	黒潮町	11	1.1%
35	無回答	6	0.6%

図2 居住地域別回答者内訳

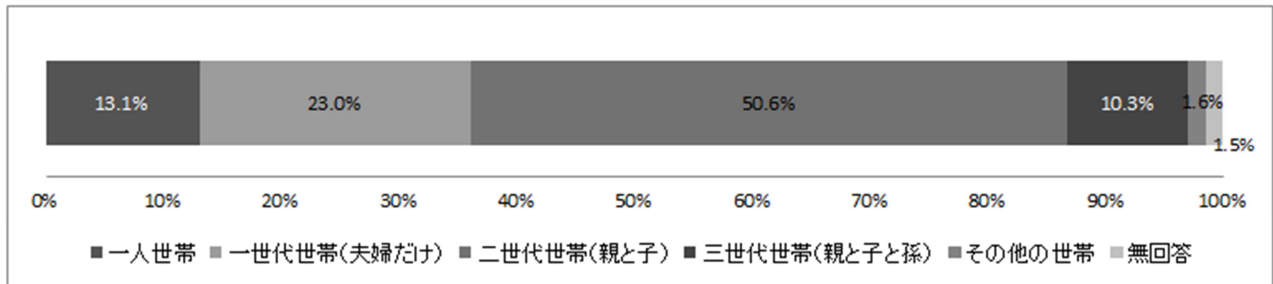


F7 あなたの世帯は（1つだけ○印）

（回答者数 964人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	一人世帯	126	13.1%
2	一世代世帯（夫婦だけ）	222	23.0%
3	二世代世帯（親と子）	488	50.6%
4	三世代世帯（親と子と孫）	99	10.3%
5	その他の世帯	15	1.6%
6	無回答	14	1.5%

図3 世帯構成別回答者内訳



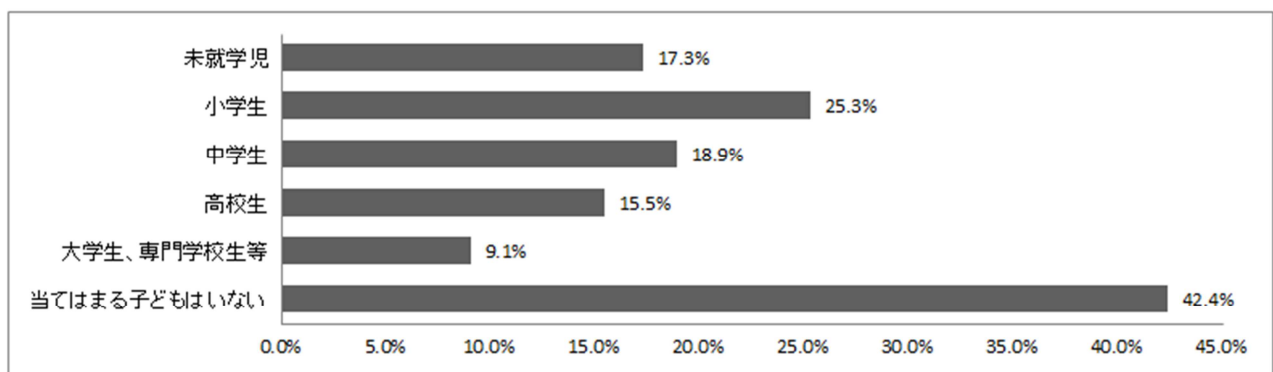
F8 お子さんと同居している方におたずねします。

あなたが同居しているお子さんに、次の方はいますか。（あてはまるものすべてに○印）

（回答者数 375人）

	選択肢	回答数	回答比率
1	未就学児	65	17.3%
2	小学生	95	25.3%
3	中学生	71	18.9%
4	高校生	58	15.5%
5	大学生、専門学校生等	34	9.1%
6	当てはまる子どもはいない	159	42.4%

図4 同居の子どもの状況



◆ 1. 男女平等に関する意識について

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)まで、あなたの気持ちに最も近い番号(1~6)に1つだけ○印

(回答者数：(ア)～(ク)まですべて964人)

(ア) 家庭生活

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	81	8.4%	8.9%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	375	38.9%	42.6%
3	平等	339	35.2%	34.4%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	68	7.1%	6.0%
5	女性の方が非常に優遇されている	11	1.1%	1.3%
6	わからない	70	7.3%	5.7%
7	無回答	20	2.1%	1.2%

(イ) 職場生活

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	77	8.0%	8.8%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	361	37.4%	37.1%
3	平等	331	34.3%	32.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	60	6.2%	6.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	5	0.5%	1.2%
6	わからない	90	9.3%	9.8%
7	無回答	40	4.1%	3.7%

(ウ) 学校教育

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	7	0.7%	1.2%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	102	10.6%	6.4%
3	平等	651	67.5%	71.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	24	2.5%	2.0%
5	女性の方が非常に優遇されている	3	0.3%	0.3%
6	わからない	138	14.3%	15.3%
7	無回答	39	4.0%	3.8%

(エ) 政治の場

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	239	24.8%	26.7%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	427	44.3%	44.7%
3	平等	158	16.4%	13.8%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	1.1%	0.8%
5	女性の方が非常に優遇されている	2	0.2%	0.2%
6	わからない	96	10.0%	10.7%
7	無回答	31	3.2%	3.1%

(オ) 地域活動の場

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	37	3.8%	4.7%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	255	26.5%	26.9%
3	平等	438	45.4%	43.2%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	52	5.4%	7.2%
5	女性の方が非常に優遇されている	1	0.1%	0.8%
6	わからない	151	15.7%	13.8%
7	無回答	30	3.1%	3.4%

(カ) 法律や制度の上

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	70	7.3%	7.8%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	284	29.5%	29.0%
3	平等	372	38.6%	37.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	60	6.2%	6.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	6	0.6%	0.8%
6	わからない	142	14.7%	15.2%
7	無回答	30	3.1%	2.9%

(キ) 社会通念・習慣・しきたり

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	150	15.6%	16.2%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	462	47.9%	54.6%
3	平等	204	21.2%	13.8%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	1.8%	2.3%
5	女性の方が非常に優遇されている	1	0.1%	0.4%
6	わからない	102	10.6%	10.1%
7	無回答	28	2.9%	2.7%

(ク)社会全体

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	93	9.6%	9.6%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	490	50.8%	56.4%
3	平等	226	23.4%	16.1%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	48	5.0%	4.0%
5	女性の方が非常に優遇されている	2	0.2%	1.9%
6	わからない	81	8.4%	9.5%
7	無回答	24	2.5%	2.7%

図1-1 分野別の男女平等に関する意識 (令和元年度調査)

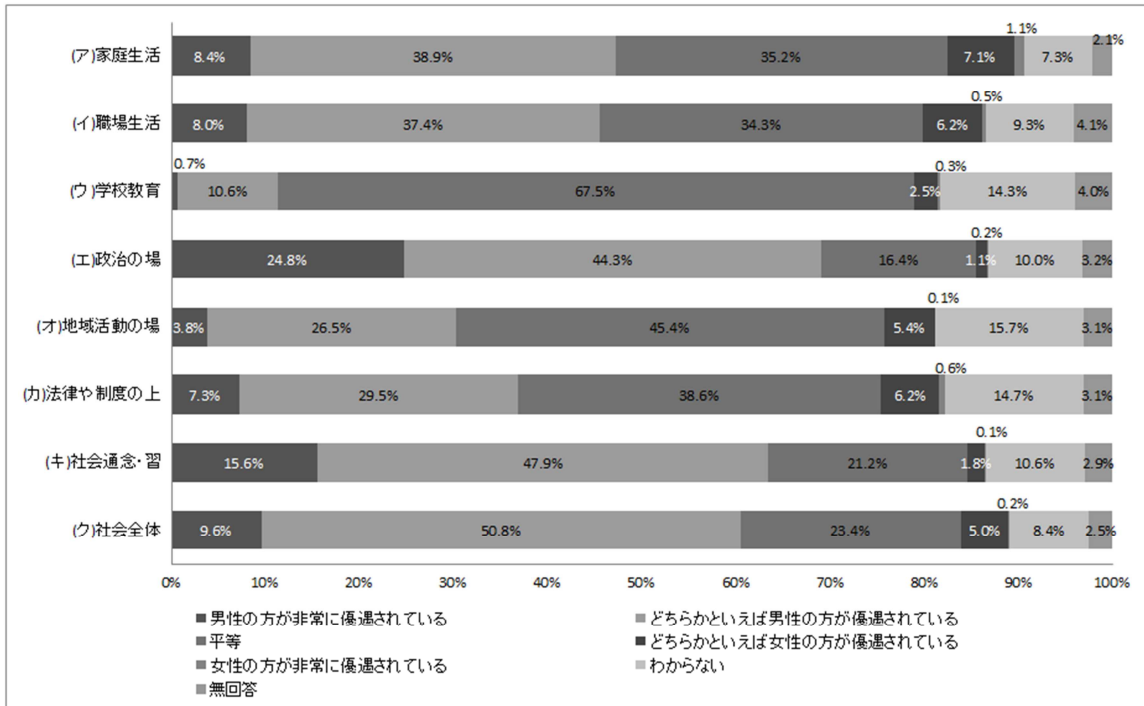
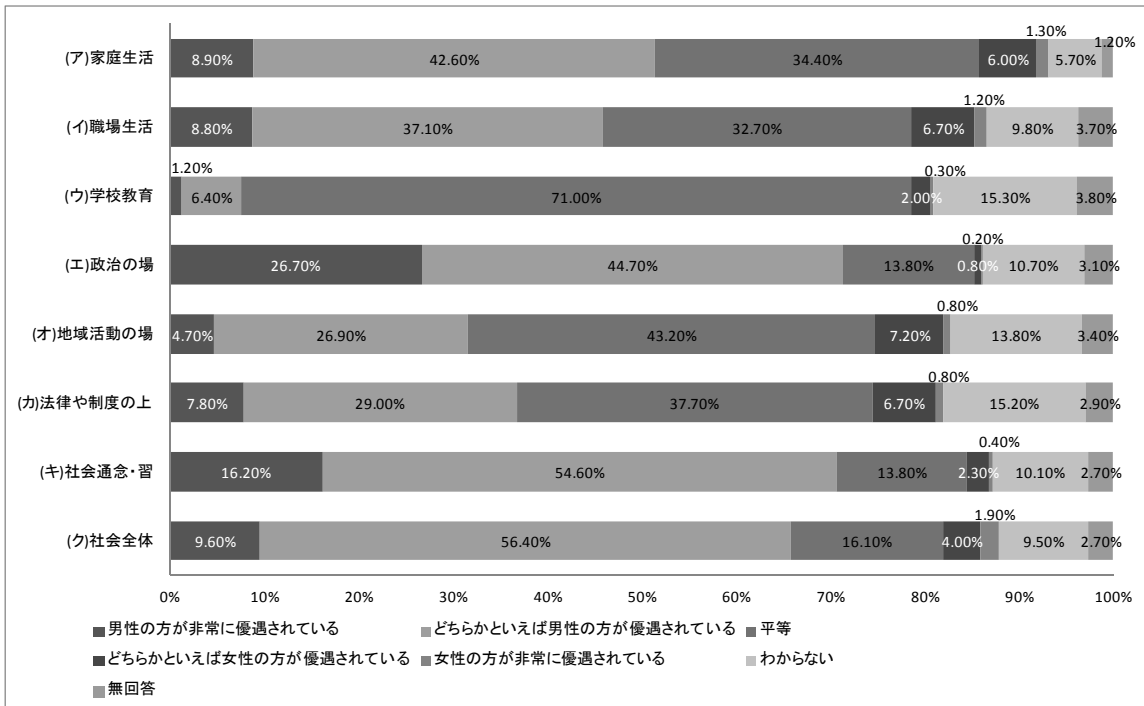


図1-2 分野別の男女平等に関する意識 (平成26年度調査)



◆ 2. 家庭生活について

問2 家庭生活における男女の役割分担の理想と現実について、伺います。(1つだけ○印)

(1) あなたの理想に最も近いものはどれですか【全員回答】

(回答者数 964人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性が家計を支え、女性が家事・育児に専念する	124	12.9%	20.4%
2	女性が家計を支え、男性が家事・育児に専念する	2	0.2%	0.6%
3	男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児を分担する	97	10.1%	11.1%
4	男性と女性が共同で家計を支え、主に男性が家事・育児を分担する	4	0.4%	0.6%
5	男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	436	45.2%	44.5%
6	男性と女性の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	249	25.8%	20.0%
7	その他	11	1.1%	0.9%
8	無回答	41	4.3%	1.9%

(2) あなたの家庭での実際の役割分担に最も近いものはどれですか(どれでしたか)

【結婚している(またはしたことがある)方のみ】

(回答者数 665人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性が家計を支え、女性が家事・育児に専念する	175	26.3%	23.3%
2	女性が家計を支え、男性が家事・育児に専念する	1	0.2%	0.9%
3	男性と女性が共同で家計を支え、主に女性が家事・育児を分担する	272	40.9%	41.1%
4	男性と女性が共同で家計を支え、主に男性が家事・育児を分担する	8	1.2%	0.7%
5	男性と女性が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	126	18.9%	18.9%
6	男性と女性の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	66	9.9%	11.4%
7	その他	17	2.6%	3.7%

図2-1 家庭における男女の役割分担についての理想と現実比較（令和元年度調査）

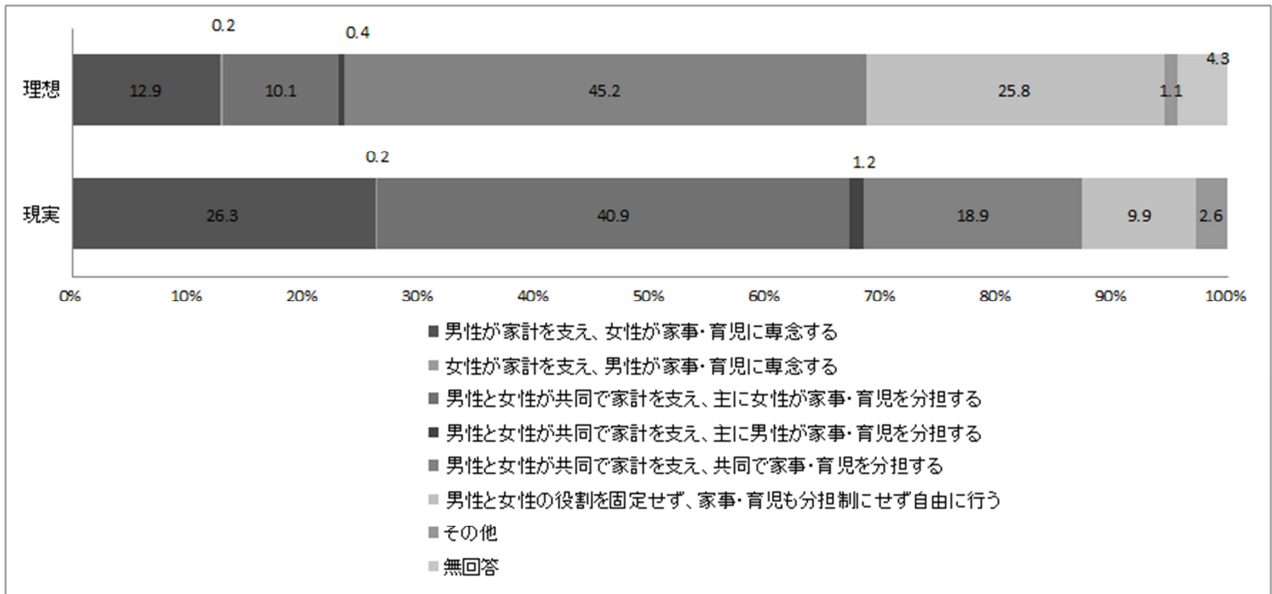
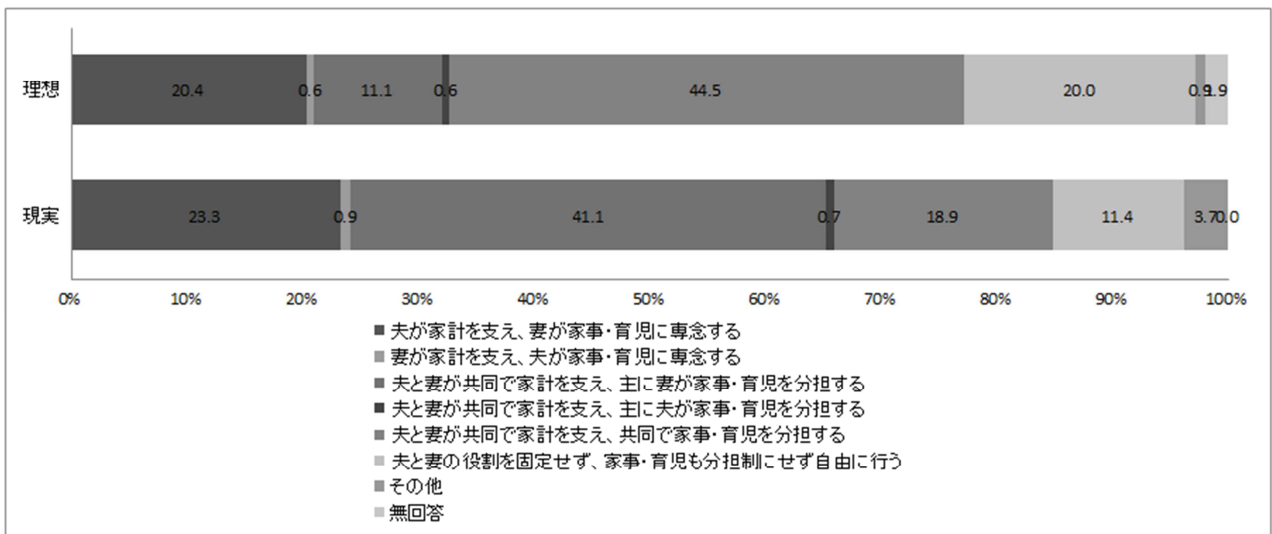


図2-2 家庭における夫婦の役割分担についての理想と現実比較（平成26年度調査）

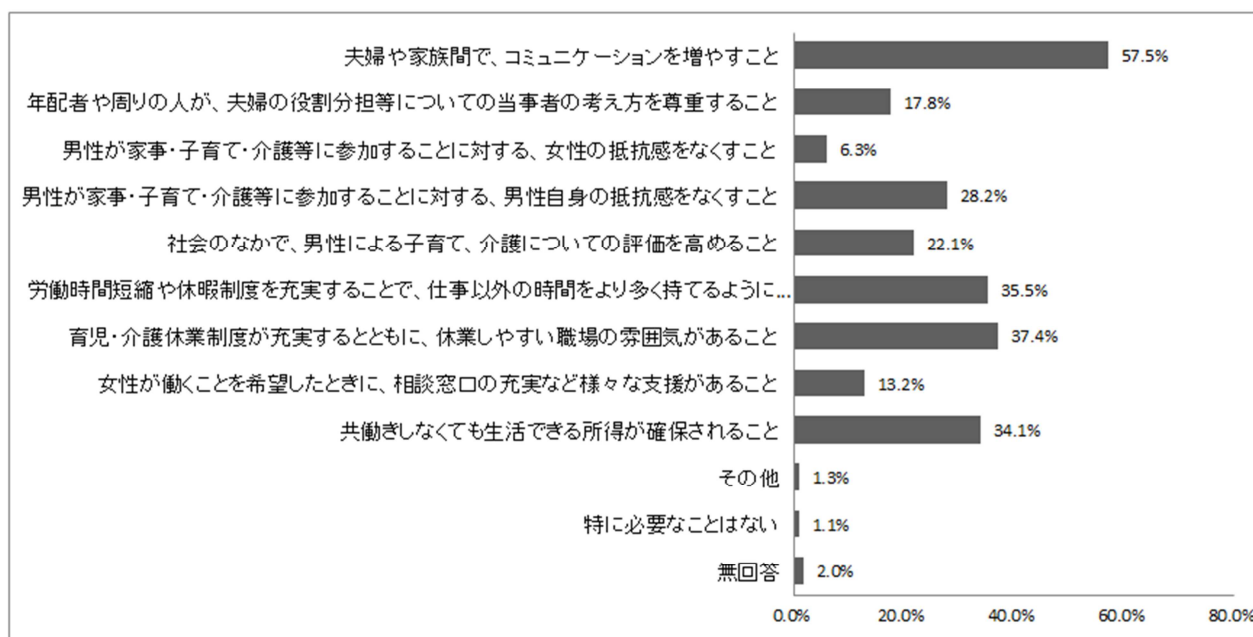


問3 あなたが考える理想的な男女の役割分担が実現するためには、どんなことが必要だと思いますか。(3つまで○印)

(回答者数 964人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	夫婦や家族間で、コミュニケーションを増やすこと	554	57.5%	59.5%
2	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	172	17.8%	16.1%
3	男性が家事・子育て・介護等に参加することに対する、女性の抵抗感をなくすこと	61	6.3%	6.9%
4	男性が家事・子育て・介護等に参加することに対する、男性自身の抵抗感をなくすこと	272	28.2%	26.3%
5	社会のなかで、男性による子育て、介護についての評価を高めること	213	22.1%	22.9%
6	労働時間短縮や休暇制度を充実することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	342	35.5%	34.2%
7	育児・介護休業制度が充実するとともに、休業しやすい職場の雰囲気があること	361	37.4%	43.5%
8	女性が働くことを希望したときに、相談窓口の充実など様々な支援があること	127	13.2%	18.1%
9	共働きしなくても生活できる所得が確保されること	329	34.1%	35.8%
10	その他	13	1.3%	1.7%
11	特に必要なことはない	11	1.1%	1.5%
12	無回答	19	2.0%	1.1%

図3 家庭における男女の役割分担の理想を実現するために必要だと考えること



◆ 3. 男女がともに働きやすい職場づくりについて 新

問4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について、伺います。（1つだけ○印）
 (1) 生活の中での、「仕事」と「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。【全員回答】
 (回答者数 964 人)

	選択肢	R1 調査		R1 内閣府調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	「仕事」を優先したい	37	3.8%	9.9%
2	「家庭生活」を優先したい	128	13.3%	28.4%
3	「地域・個人の生活」を優先したい	39	4.0%	4.7%
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	239	24.8%	28.7%
5	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	33	3.4%	3.3%
6	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	63	6.5%	10.1%
7	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	141	14.6%	13.1%
8	ライフステージの変化に応じて、その都度考えたい	259	26.9%	—
9	その他	3	0.3%	—
10	わからない	—	—	1.9%
11	無回答	22	2.3%	4.4%

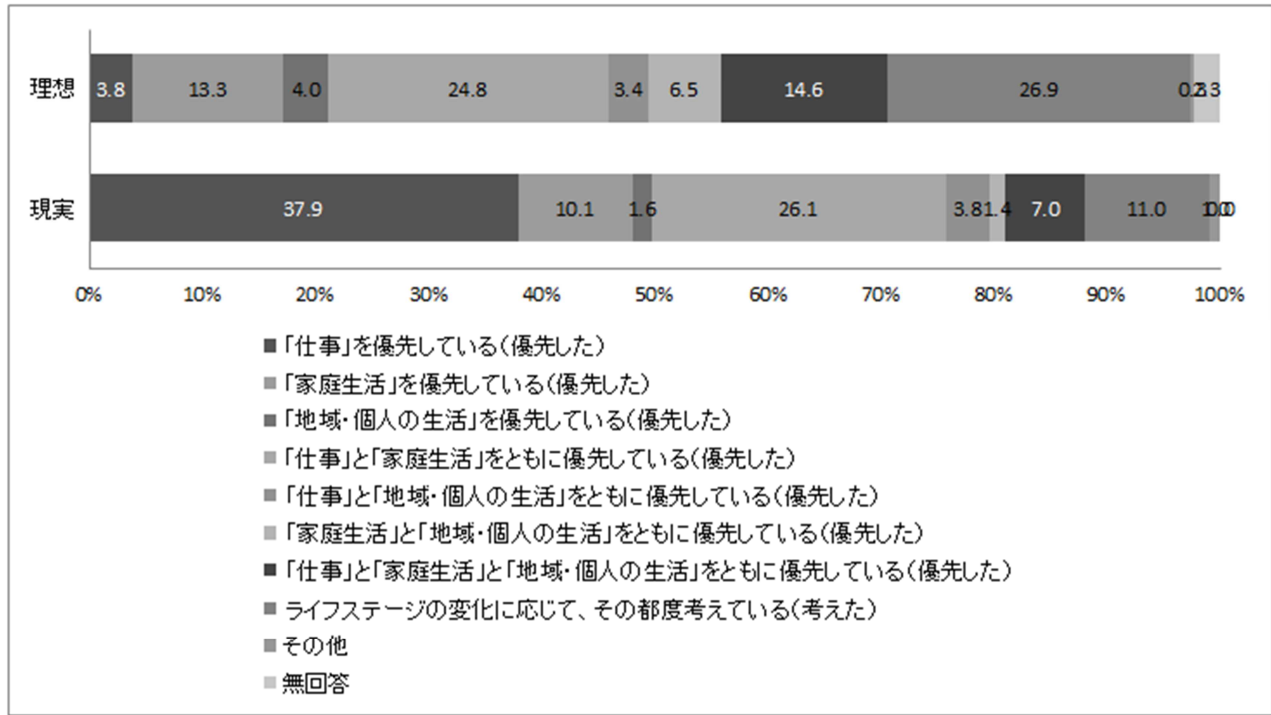
※グラフ中の「—」は、その質問項目が無いことを示す。以下同じ。

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか（どれでしたか）。
 【働いている（または働いたことのある）方のみ回答】

(回答者数 858 人)

	選択肢	R1 調査		R1 内閣府調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	「仕事」を優先している（優先した）	325	37.9%	25.9%
2	「家庭生活」を優先している（優先した）	87	10.1%	30.3%
3	「地域・個人の生活」を優先している（優先した）	14	1.6%	4.5%
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（優先した）	224	26.1%	21.0%
5	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している（優先した）	33	3.8%	3.1%
6	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（優先した）	12	1.4%	8.1%
7	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（優先した）	60	7.0%	5.1%
8	ライフステージの変化に応じて、その都度考えている（考えた）	94	11.0%	—
9	その他	9	1.0%	—
10	わからない	—	—	1.9%

図4 ワーク・ライフ・バランスについての理想と現実比較



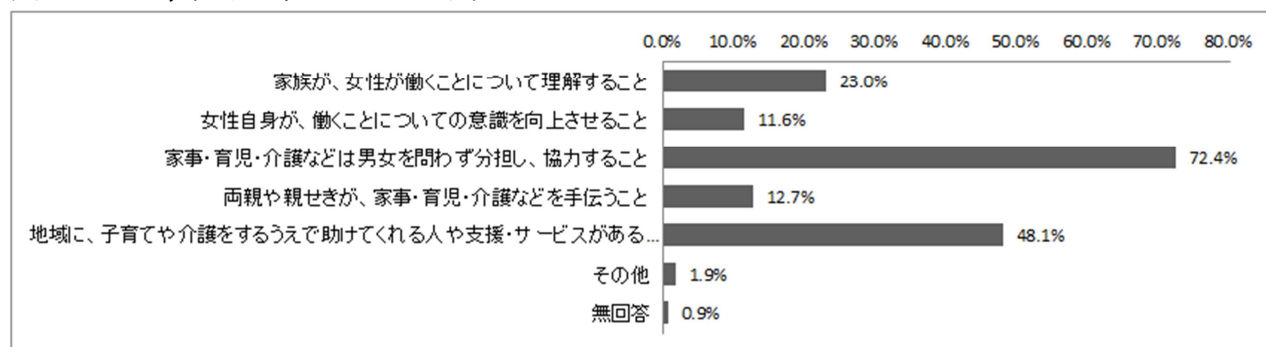
問5 男女がともに働きやすくなるためには、(1) 家族や地域において、(2) 企業など職場において、(3) 行政の取組において、それぞれどんなことが必要だと思いますか。

(1) 家族や地域において必要なこと (2つまで○印)

(回答者数 964 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	家族が、女性が働くことについて理解すること	222	23.0%
2	女性自身が、働くことについての意識を向上させること	112	11.6%
3	家事・育児・介護などは男女を問わず分担し、協力すること	698	72.4%
4	両親や親せきが、家事・育児・介護などを手伝うこと	122	12.7%
5	地域に、子育てや介護をするうえで助けてくれる人や支援・サービスがあること	464	48.1%
6	その他	18	1.9%
	無回答	9	0.9%

図5-1 家族や地域において必要なこと

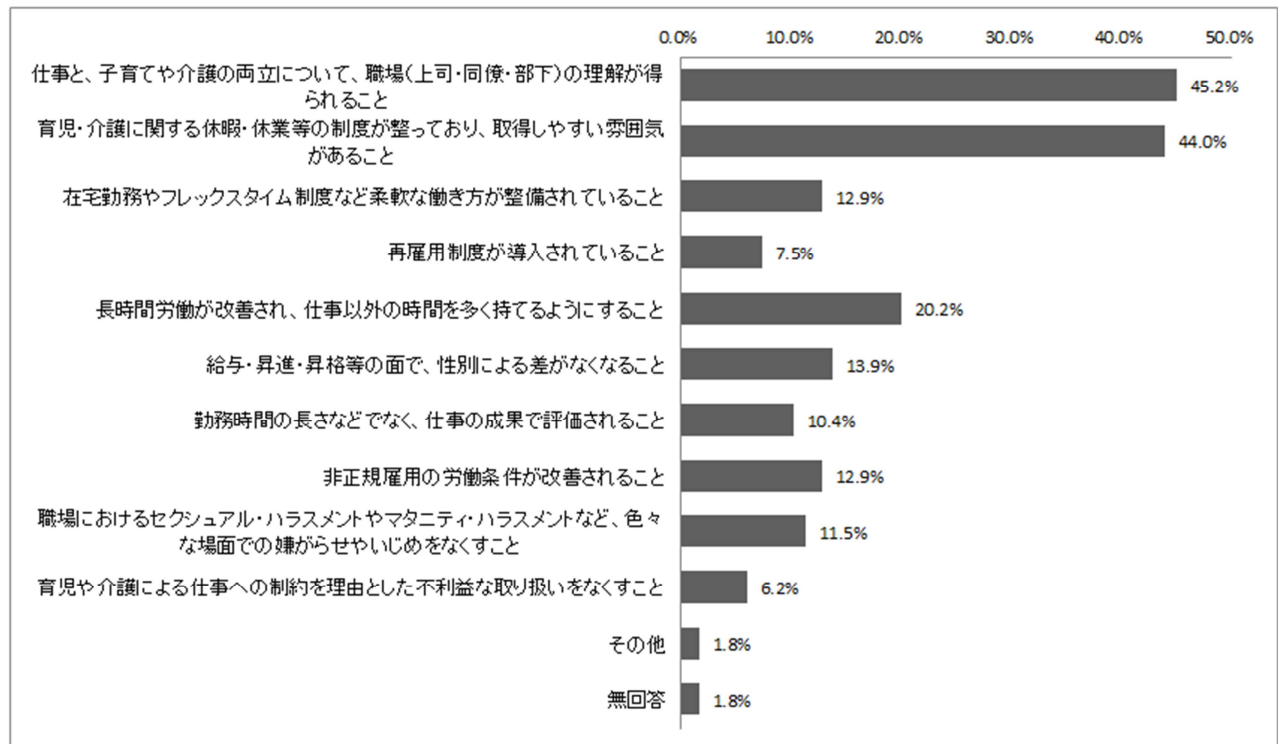


(2) 企業など職場において必要なこと（2つまで〇印）

(回答者数 964 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	仕事と、子育てや介護の両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること	436	45.2%
2	育児・介護に関する休暇・休業等の制度が整っており、取得しやすい雰囲気があること	424	44.0%
3	在宅勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方が整備されていること	124	12.9%
4	再雇用制度が導入されていること	72	7.5%
5	長時間労働が改善され、仕事以外の時間を多く持てるようにすること	195	20.2%
6	給与・昇進・昇格等の面で、性別による差がなくなること	134	13.9%
7	勤務時間の長さなどでなく、仕事の成果で評価されること	100	10.4%
8	非正規雇用の労働条件が改善されること	124	12.9%
9	職場におけるセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントなど、色々な場面での嫌がらせやいじめをなくすこと	111	11.5%
10	育児や介護による仕事への制約を理由とした不利益な取り扱いをなくすこと	60	6.2%
11	その他	17	1.8%
12	無回答	17	1.8%

図5-2 企業など職場において必要なこと

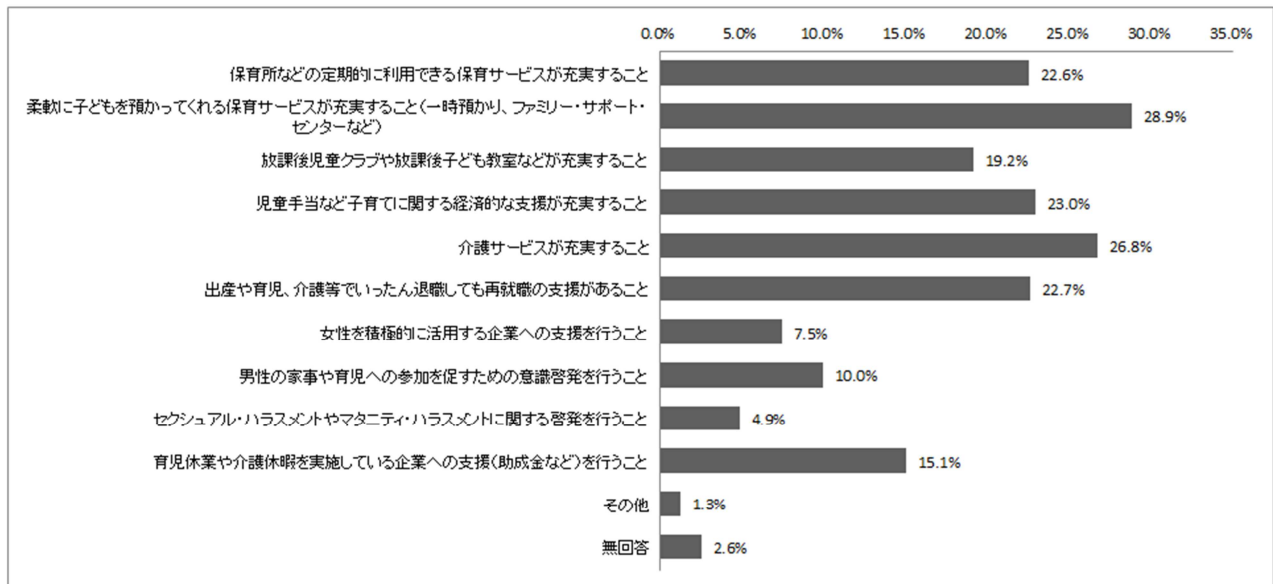


(3) 行政の取組において必要なこと（2つまで選択）

(回答者数 964人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	保育所などの定期的に利用できる保育サービスが充実すること	218	22.6%
2	柔軟に子どもを預かってくれる保育サービスが充実すること (一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど)	279	28.9%
3	放課後児童クラブや放課後子ども教室などが充実すること	185	19.2%
4	児童手当など子育てに関する経済的な支援が充実すること	222	23.0%
5	介護サービスが充実すること	258	26.8%
6	出産や育児、介護等でいったん退職しても再就職の支援があること	219	22.7%
7	女性を積極的に活用する企業への支援を行うこと	72	7.5%
8	男性の家事や育児への参加を促すための意識啓発を行うこと	96	10.0%
9	セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントに関する啓発を行うこと	47	4.9%
10	育児休業や介護休暇を実施している企業への支援(助成金など)を行うこと	146	15.1%
11	その他	13	1.3%
	無回答	25	2.6%

図5-3 行政の取組において必要なこと



◆ 4. ドメスティック・バウンス(夫婦・恋人間の暴力)/セクシュアル・ハラスメントについて

問6 あなたは、配偶者や恋人があなたに対して、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。(あなたの気持ちに最も近い番号(1~3)に1つだけ○印)

(回答者数:(ア)~(シ)まですべて964人)

(ア) 素手で殴ったり、足でける

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	848	88.0%	85.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	92	9.5%	11.1%
3	暴力に当たると思わない	3	0.3%	0.5%
4	無回答	21	2.2%	3.3%

(イ) バットやベルト等、物を使って殴る

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	925	96.0%	94.4%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	7	0.7%	1.1%
3	暴力に当たると思わない	4	0.4%	0.7%
4	無回答	28	2.9%	3.8%

(ウ) 物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	856	88.8%	87.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	73	7.6%	8.2%
3	暴力に当たると思わない	4	0.4%	0.6%
4	無回答	31	3.2%	4.0%

(エ) ドアをけったり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをして、おどす

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	870	90.2%	87.8%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	60	6.2%	7.7%
3	暴力に当たると思わない	6	0.6%	0.6%
4	無回答	28	2.9%	3.9%

(オ) 大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	756	78.4%	59.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	170	17.6%	34.7%
3	暴力に当たると思わない	11	1.1%	2.8%
4	無回答	27	2.8%	3.4%

(カ) 小バカにするようなことを言ったり、態度を取る

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	486	50.4%	44.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	396	41.1%	43.5%
3	暴力に当たると思わない	49	5.1%	8.0%
4	無回答	33	3.4%	4.3%

(キ) 何を言っても、長時間無視し続ける

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	505	52.4%	51.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	334	34.6%	34.4%
3	暴力に当たると思わない	94	9.8%	10.1%
4	無回答	31	3.2%	4.2%

(ク) 交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	560	58.1%	55.6%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	298	30.9%	30.3%
3	暴力に当たると思わない	71	7.4%	9.6%
4	無回答	35	3.6%	4.5%

(ケ) 嫌がっているのに、性的な行為を強制する

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	791	82.1%	80.9%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	125	13.0%	13.1%
3	暴力に当たると思わない	18	1.9%	1.8%
4	無回答	30	3.1%	4.2%

(コ) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	748	77.6%	71.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	136	14.1%	18.4%
3	暴力に当たると思わない	49	5.1%	6.2%
4	無回答	31	3.2%	4.1%

(サ) 「誰のおかげで生活できるのか」 などと言う

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	710	73.7%	67.0%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	176	18.3%	22.3%
3	暴力に当たると思わない	48	5.0%	6.3%
4	無回答	30	3.1%	4.4%

(シ) 生活費を渡さない、極端に制限して渡す

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	732	75.9%	72.8%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	166	17.2%	18.2%
3	暴力に当たると思わない	36	3.7%	4.9%
4	無回答	30	3.1%	4.0%

図6-1 配偶者等からの行為に対する暴力認識 (令和元年度調査)

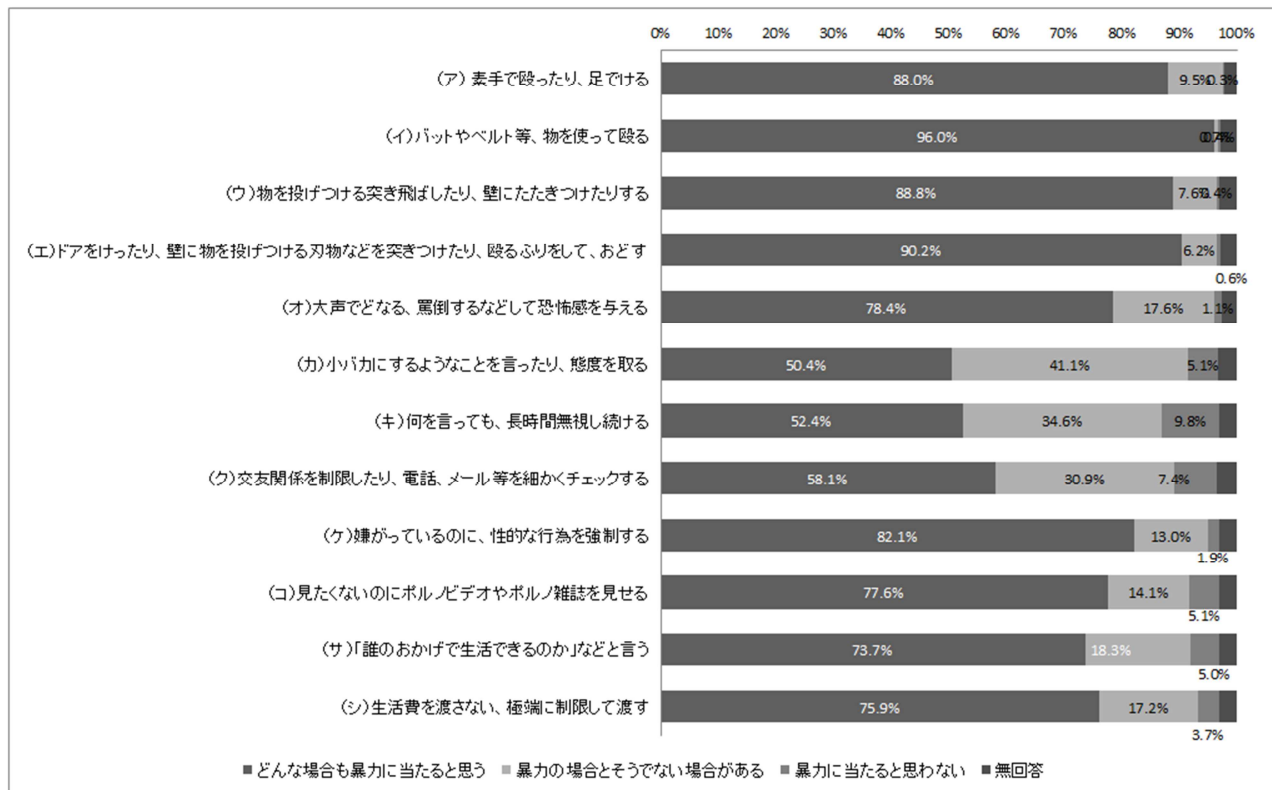
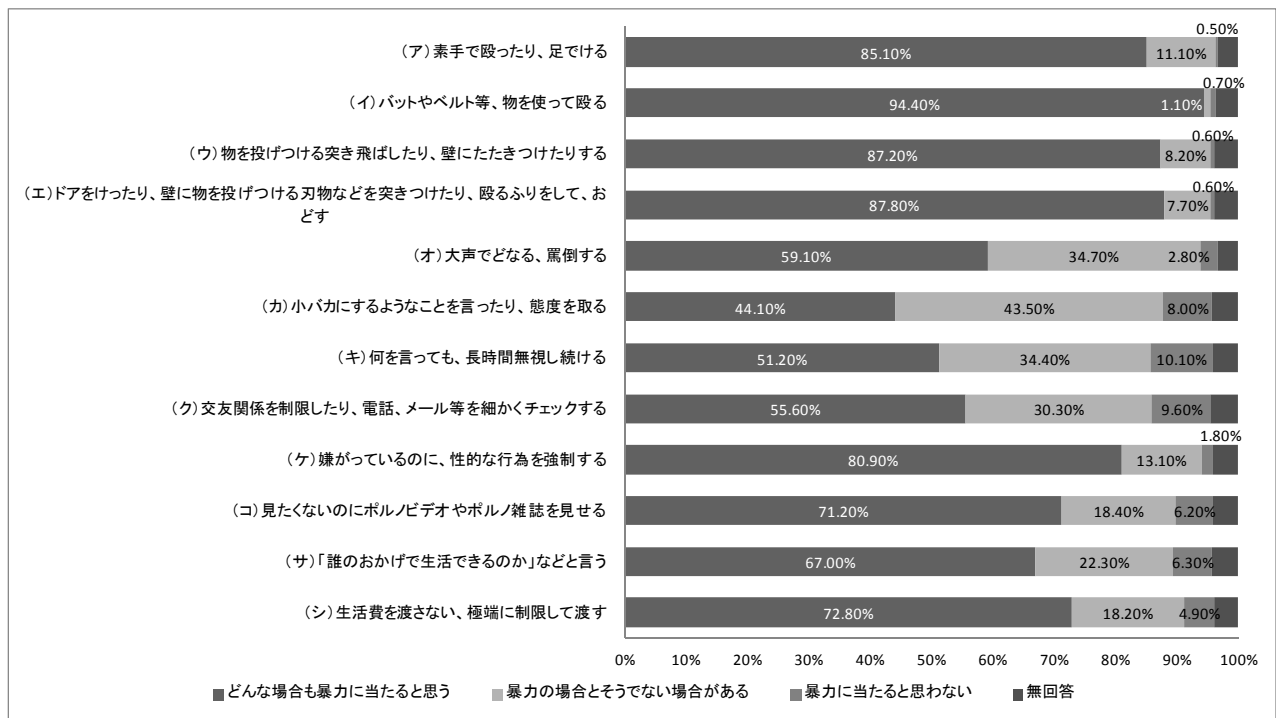


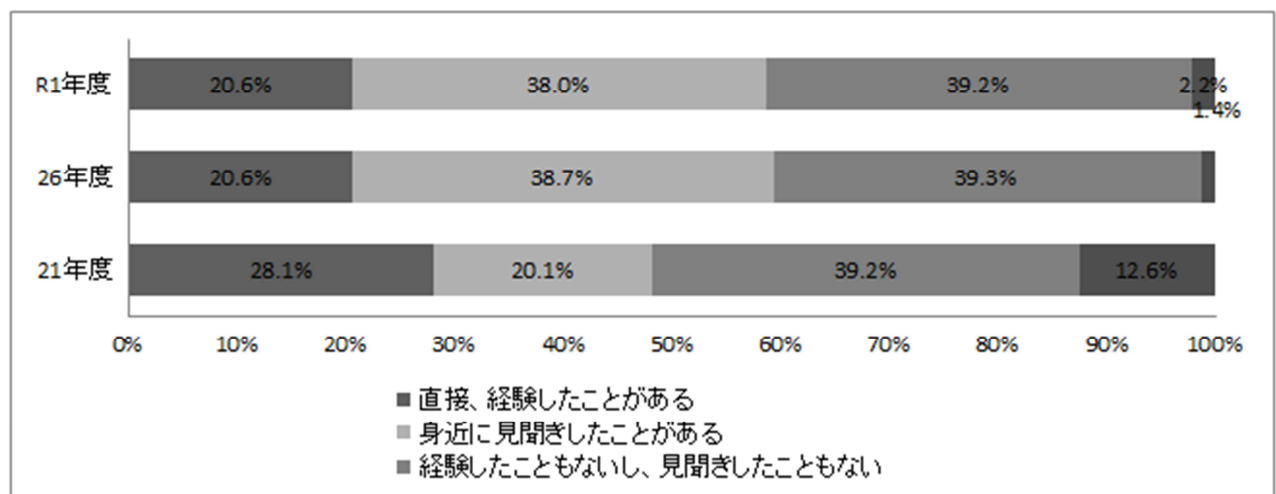
図6-2 配偶者等からの行為に対する暴力認識（平成26年度調査）



問7 あなたは問6（ア）～（シ）のようなことを経験したり、見聞きしたことがありますか。（1つだけ○印）
（回答者数 964 人）

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	直接、経験したことがある	199	20.6%	20.6%
2	身近に見聞きしたことがある	366	38.0%	38.7%
3	経験したこともないし、見聞きしたこともない	378	39.2%	39.3%
4	無回答	21	2.2%	1.4%

図7 DV経験有無 年度別比較



★問7で「1. 直接、経験したことがある」を選んだ方のみお答えください。

問8 あなたは、あなたの配偶者や恋人に次のようなことをしたこと、またはされたことはありますか。(あなたの経験に最も近い番号(1~4)に○印)

(回答者数:(ア)~(ス)まですべて199人)

(ア) 素手で殴ったり、足でける

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	5	2.5%	3.8%
2	1, 2度した	30	15.1%	22.0%
3	何度もされた	24	12.1%	13.4%
4	1, 2度された	34	17.1%	26.3%

(イ) バットやベルト等、物を使って殴る

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	2	1.0%	2.4%
2	1, 2度した	8	4.0%	3.3%
3	何度もされた	4	2.0%	2.9%
4	1, 2度された	12	6.0%	4.8%

(ウ) 物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	4	2.0%	3.3%
2	1, 2度した	21	10.6%	10.5%
3	何度もされた	20	10.1%	11.0%
4	1, 2度された	30	15.1%	23.0%

(エ) ドアをけったり、壁に物を投げつける。刃物などを突きつけたり、殴るふりをして、おどす

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	5	2.5%	3.8%
2	1, 2度した	17	8.5%	10.5%
3	何度もされた	30	15.1%	12.9%
4	1, 2度された	38	19.1%	17.7%

(オ) 大声でどなる、罵倒するなどして恐怖感を与える

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	14	7.0%	10.0%
2	1, 2度した	26	13.1%	22.5%
3	何度もされた	58	29.1%	34.4%
4	1, 2度された	33	16.6%	17.2%

(カ) 小バカにするようなことを言ったり、態度を取る

	選択肢	R1 調査		H26 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	何度もした	16	8.0%	10.5%
2	1, 2度した	28	14.1%	18.2%
3	何度もされた	56	28.1%	29.2%
4	1, 2度された	42	21.1%	19.6%

(キ) 何を言っても、長時間無視し続ける

	選択肢	R1 調査		H26 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	何度もした	8	4.0%	4.3%
2	1, 2度した	26	13.1%	17.7%
3	何度もされた	26	13.1%	13.4%
4	1, 2度された	28	14.1%	16.3%

(ク) 交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする

	選択肢	R1 調査		H26 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	何度もした	3	1.5%	1.4%
2	1, 2度した	9	4.5%	3.3%
3	何度もされた	25	12.6%	11.5%
4	1, 2度された	14	7.0%	10.0%

(ケ) 嫌がっているのに、性的な行為を強制する

	選択肢	R1 調査		H26 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	何度もした	1	0.5%	1.0%
2	1, 2度した	5	2.5%	4.8%
3	何度もされた	26	13.1%	13.4%
4	1, 2度された	18	9.0%	5.7%

(コ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	選択肢	R1 調査		H26 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	何度もした	1	0.5%	0.0%
2	1, 2度した	4	2.0%	2.4%
3	何度もされた	3	1.5%	1.4%
4	1, 2度された	9	4.5%	3.8%

(サ) 「誰のおかげで生活できるのか」 などと言う

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	4	2.0%	1.9%
2	1, 2度した	9	4.5%	8.1%
3	何度もされた	22	11.1%	8.6%
4	1, 2度された	17	8.5%	10.5%

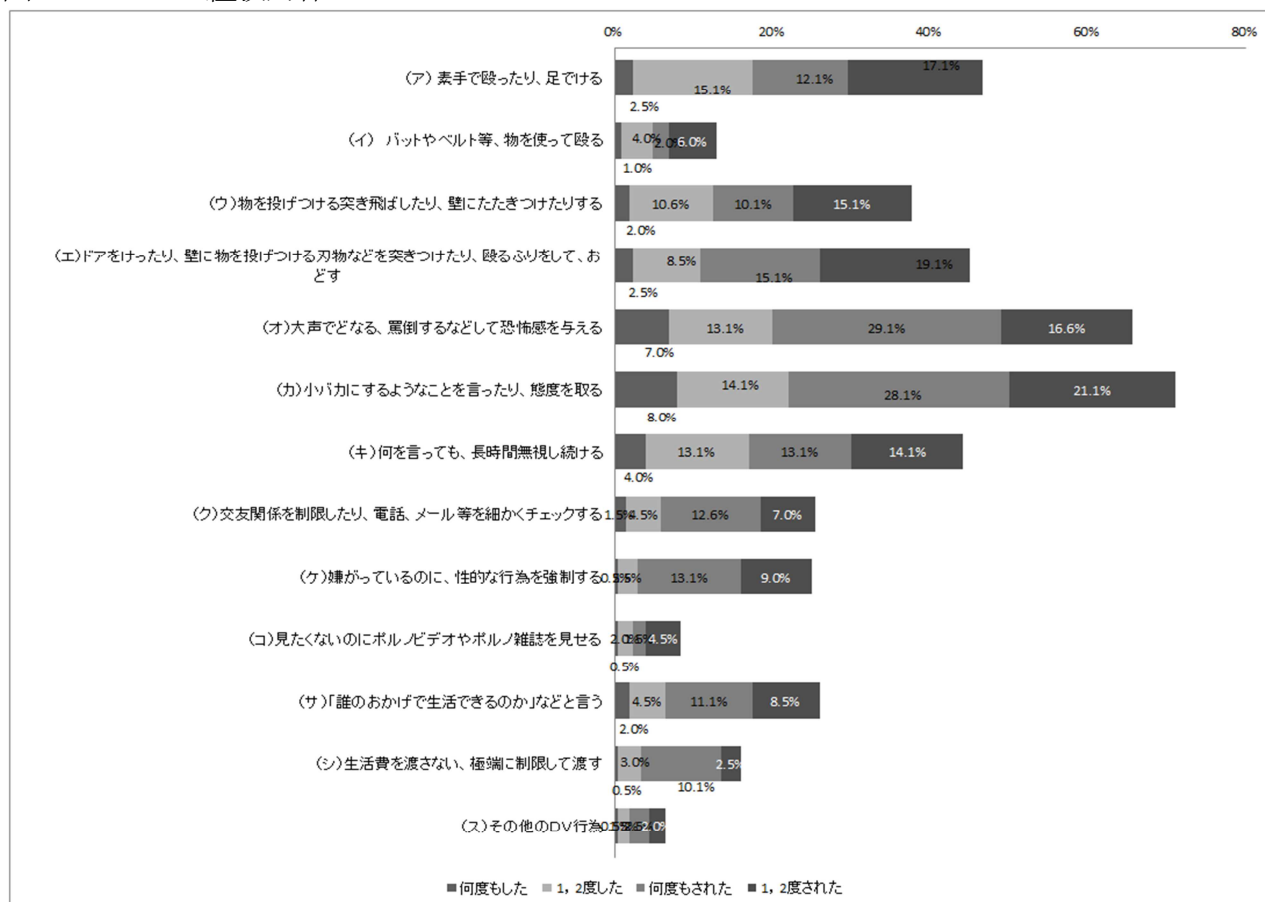
(シ) 生活費を渡さない、極端に制限して渡す

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	1	0.5%	0.5%
2	1, 2度した	6	3.0%	3.3%
3	何度もされた	20	10.1%	11.0%
4	1, 2度された	5	2.5%	4.8%

(ス) その他のDV行為

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	何度もした	1	0.5%	0.5%
2	1, 2度した	3	1.5%	1.0%
3	何度もされた	5	2.5%	3.3%
4	1, 2度された	4	2.0%	0.5%

図8-1 DV経験内容



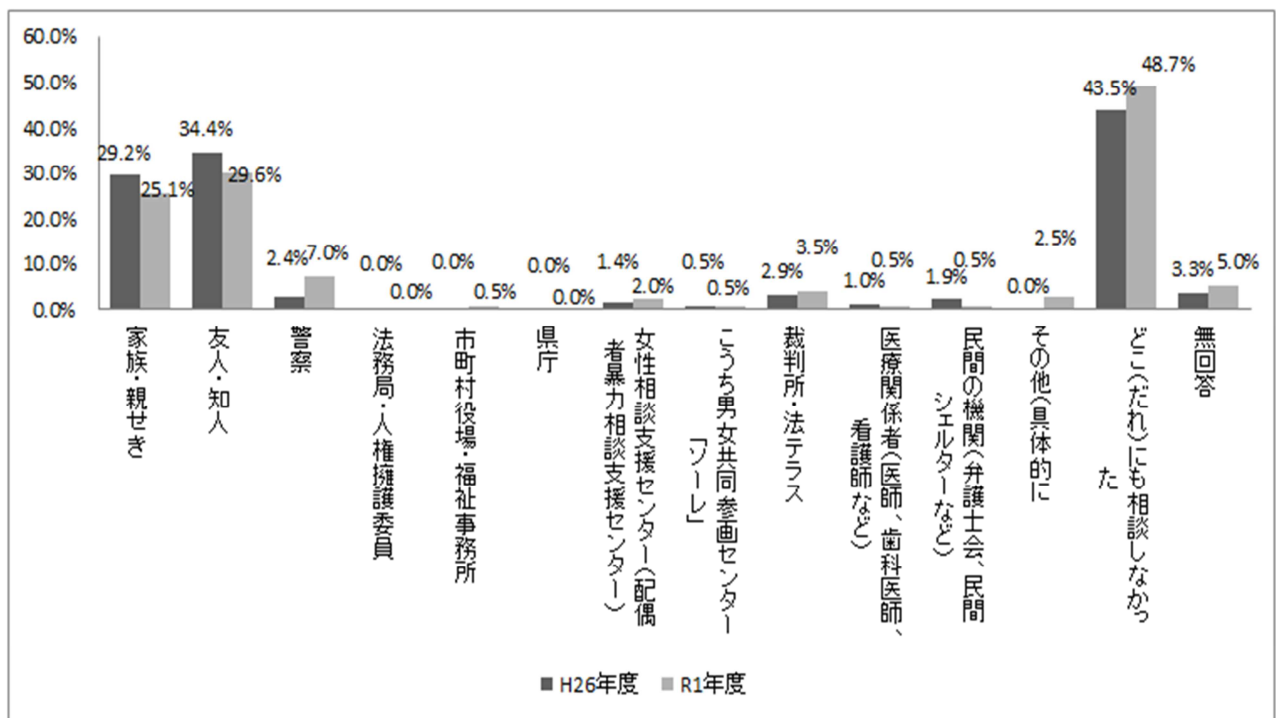
問8 〈副問1〉

あなたは、問8でしたこと、されたことについて誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
 (あてはまるものすべてに○印)

(回答者数 199人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	家族・親せき	50	25.1%	29.2%
2	友人・知人	59	29.6%	34.4%
3	警察	14	7.0%	2.4%
4	法務局・人権擁護委員	0	0.0%	0.0%
5	市町村役場・福祉事務所	1	0.5%	0.0%
6	県庁	0	0.0%	0.0%
7	女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）	4	2.0%	1.4%
8	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	1	0.5%	0.5%
9	裁判所・法テラス	7	3.5%	2.9%
10	医療関係者（医師、歯科医師、看護師など）	1	0.5%	1.0%
11	民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）	1	0.5%	1.9%
12	その他（具体的に	5	2.5%	0.0%
13	どこ（だれ）にも相談しなかった	97	48.7%	43.5%
14	無回答	10	5.0%	3.3%

図8-2 DV相談相手 年度別比較



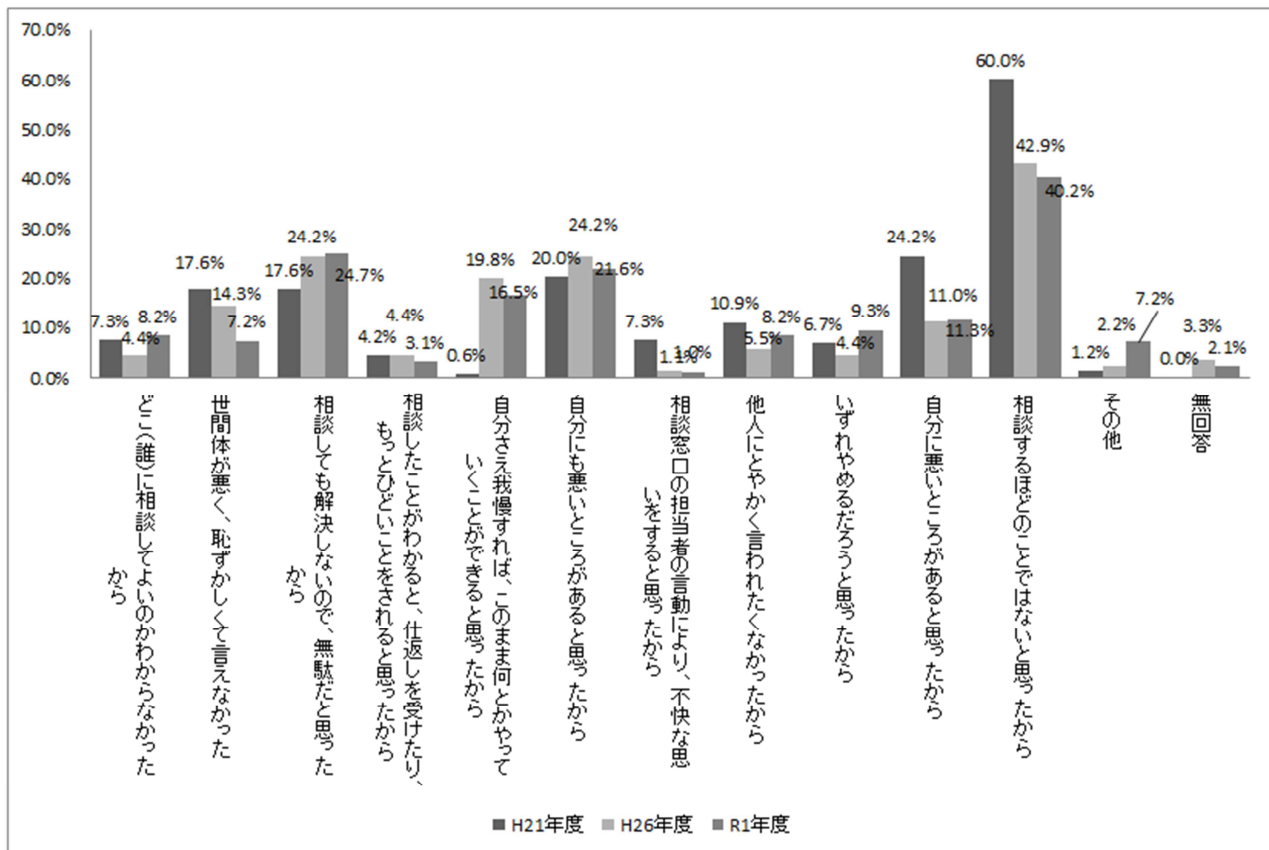
★副問1で「13. どこ（だれ）にも相談しなかった」を選んだ方のみお答えください。

問8〈副問2〉 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○印）

(回答者数 97人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	8	8.2%	4.4%
2	世間体が悪く、恥ずかしくて言えなかった	7	7.2%	14.3%
3	相談しても解決しないので、無駄だと思ったから	24	24.7%	24.2%
4	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいことをされると思ったから	3	3.1%	4.4%
5	自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから	16	16.5%	19.8%
6	自分にも悪いところがあると思ったから	21	21.6%	24.2%
7	相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをす ると思ったから	1	1.0%	1.1%
8	他人にとやかく言われたくなかったから	8	8.2%	5.5%
9	いずれやめるだろうと思ったから	9	9.3%	4.4%
10	自分に悪いところがあると思ったから	11	11.3%	11.0%
11	相談するほどのことではないと思ったから	39	40.2%	42.9%
12	その他	7	7.2%	2.2%
13	無回答	2	2.1%	3.3%

図8-3 相談を行わなかった理由 年度別比較

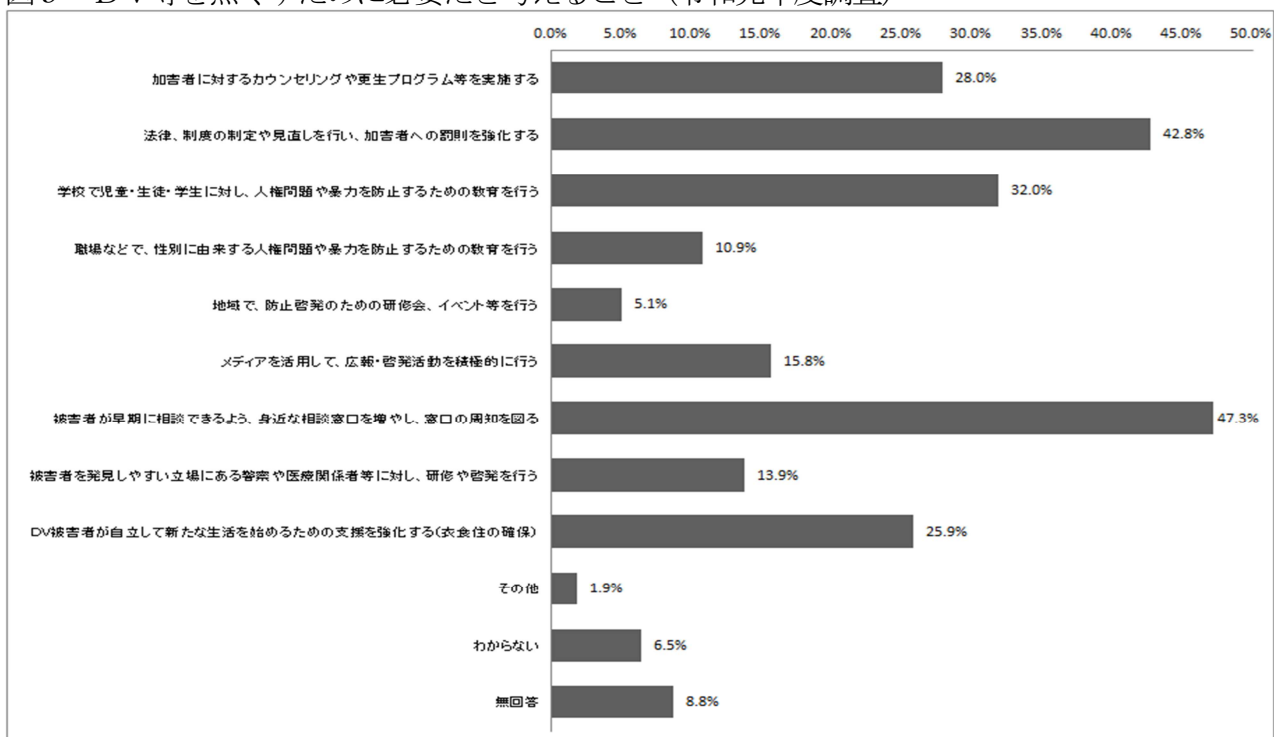


問9 デートDV（交際相手からの暴力）、DV（配偶者等からの暴力）、性暴力などの行為が社会問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。（3つまで○印）

（回答者数 964人）

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	加害者に対するカウンセリングや更生プログラム等を実施する	270	28.0%	23.2%
2	法律、制度の制定や見直しを行い、加害者への罰則を強化する	413	42.8%	44.4%
3	学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う	308	32.0%	38.7%
4	職場などで、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う	105	10.9%	10.9%
5	地域で、防止啓発のための研修会、イベント等を行う	49	5.1%	4.4%
6	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	152	15.8%	15.4%
7	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やし、窓口の周知を図る	456	47.3%	50.5%
8	被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者等に対し、研修や啓発を行う	134	13.9%	14.5%
9	DV被害者が自立して新たな生活を始めるための支援を強化する（衣食住の確保）	250	25.9%	26.2%
10	その他	18	1.9%	2.4%
11	わからない	63	6.5%	4.7%
12	無回答	85	8.8%	7.3%

図9 DV等を無くすために必要だと考えること（令和元年度調査）



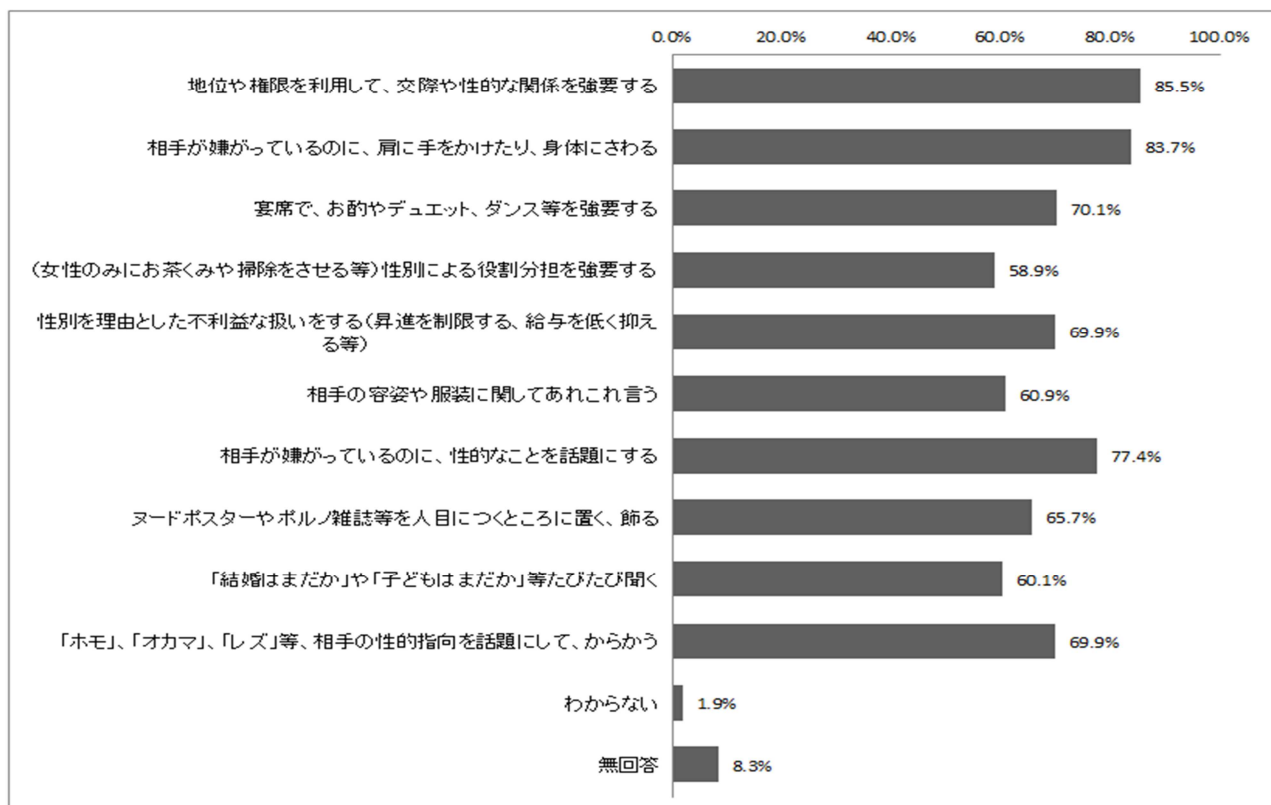
問10 次にあげるもののうち、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

(回答者数 964人)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	824	85.5%	86.9%
2	相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる	807	83.7%	80.2%
3	宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	676	70.1%	61.9%
4	(女性のみにお茶くみや掃除をさせる等)性別による役割分担を強要する	568	58.9%	49.8%
5	性別を理由とした不利益な扱いをする(昇進を制限する、給与を低く抑える等)	674	69.9%	68.9%
6	相手の容姿や服装に関してあれこれ言う	587	60.9%	57.3%
7	相手が嫌がっているのに、性的なことを話題にする	746	77.4%	75.7%
8	ヌードポスターやポルノ雑誌等を人目につくところに置く、飾る	633	65.7%	58.7%
9	「結婚はまだか」や「子どもはまだか」等たびたび聞く	579	60.1%	58.3%
10	「ホモ」、「オカマ」、「レズ」等、相手の性的指向を話題にして、からかう	674	69.9%	—
11	わからない	18	1.9%	2.4%
12	無回答	80	8.3%	5.9%

※回答比率の「—」は、その選択肢が無いことを意味する。

図10 セクハラ行為認識 年度別比較



5. 男女共同参画の推進について

問11 あなたは、次にあげる言葉について、知っていますか。(それぞれ該当する番号(1～3)に1つだけ○印)

(回答者数：(ア)～(チ)まですべて964人)

(ア) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	369	38.3%	23.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	297	30.8%	26.7%
3	知らない	236	24.5%	40.3%
4	無回答	62	6.4%	9.6%

(イ) DV(ドメスティック・バイオレンス)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	805	83.5%	86.8%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	112	11.6%	6.8%
3	知らない	22	2.3%	2.6%
4	無回答	25	2.6%	3.8%

(ウ) セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	841	87.2%	88.9%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	90	9.3%	6.1%
3	知らない	6	0.6%	1.3%
4	無回答	27	2.8%	3.7%

(エ) こうち男女共同参画センター「ソール」

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	295	30.6%	34.5%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	394	40.9%	40.8%
3	知らない	242	25.1%	20.3%
4	無回答	33	3.4%	4.4%

(オ) クオータ制

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	36	3.7%	3.3%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	175	18.2%	15.3%
3	知らない	712	73.9%	76.0%
4	無回答	41	4.3%	5.4%

(カ) 女性相談支援センター

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	154	16.0%	16.9%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	415	43.0%	46.6%
3	知らない	363	37.7%	31.5%
4	無回答	32	3.3%	4.9%

(キ) 高知家の女性しごと応援室

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	35	3.6%	3.6%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	223	23.1%	21.0%
3	知らない	671	69.6%	70.8%
4	無回答	35	3.6%	4.5%

(ク) 女子差別撤廃条約

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	138	14.3%	10.0%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	254	26.3%	25.1%
3	知らない	535	55.5%	59.9%
4	無回答	37	3.8%	5.0%

(ケ) 男女雇用機会均等法

	選択肢	H26 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	505	52.4%	51.1%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	304	31.5%	31.0%
3	知らない	125	13.0%	13.3%
4	無回答	30	3.1%	4.5%

(コ) 育児・介護休業法

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	452	46.9%	44.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	344	35.7%	38.6%
3	知らない	137	14.2%	12.6%
4	無回答	31	3.2%	4.3%

(サ) 女性活躍推進法

	選択肢	回答数	回答比率
1	内容を知っている	117	12.1%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	349	36.2%
3	知らない	456	47.3%
4	無回答	42	4.4%

(シ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（いわゆるDV防止法）

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	271	28.1%	28.3%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	480	49.8%	50.0%
3	知らない	182	18.9%	17.5%
4	無回答	31	3.2%	4.1%

(ス) 高知県男女共同参画社会づくり条例

	選択肢	R1 調査		H26 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	55	5.7%	8.5%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	369	38.3%	37.2%
3	知らない	502	52.1%	49.5%
4	無回答	38	3.9%	4.8%

(セ) 性的少数者（いわゆるLGBTなど）

	選択肢	回答数	回答比率
1	内容を知っている	415	43.0%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	260	27.0%
3	知らない	254	26.3%
4	無回答	35	3.6%

(ソ) 性的指向・性自認 (SOGI)

	選択肢	回答数	回答比率
1	内容を知っている	99	10.3%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	242	25.1%
3	知らない	586	60.8%
4	無回答	37	3.8%

(タ) カミングアウト

	選択肢	回答数	回答比率
1	内容を知っている	476	49.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	219	22.7%
3	知らない	238	24.7%
4	無回答	31	3.2%

(チ) アウティング

	選択肢	回答数	回答比率
1	内容を知っている	62	6.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	172	17.8%
3	知らない	693	71.9%
4	無回答	37	3.8%

図11-1 男女共同参画関連用語等の認知度 (令和元年度調査)

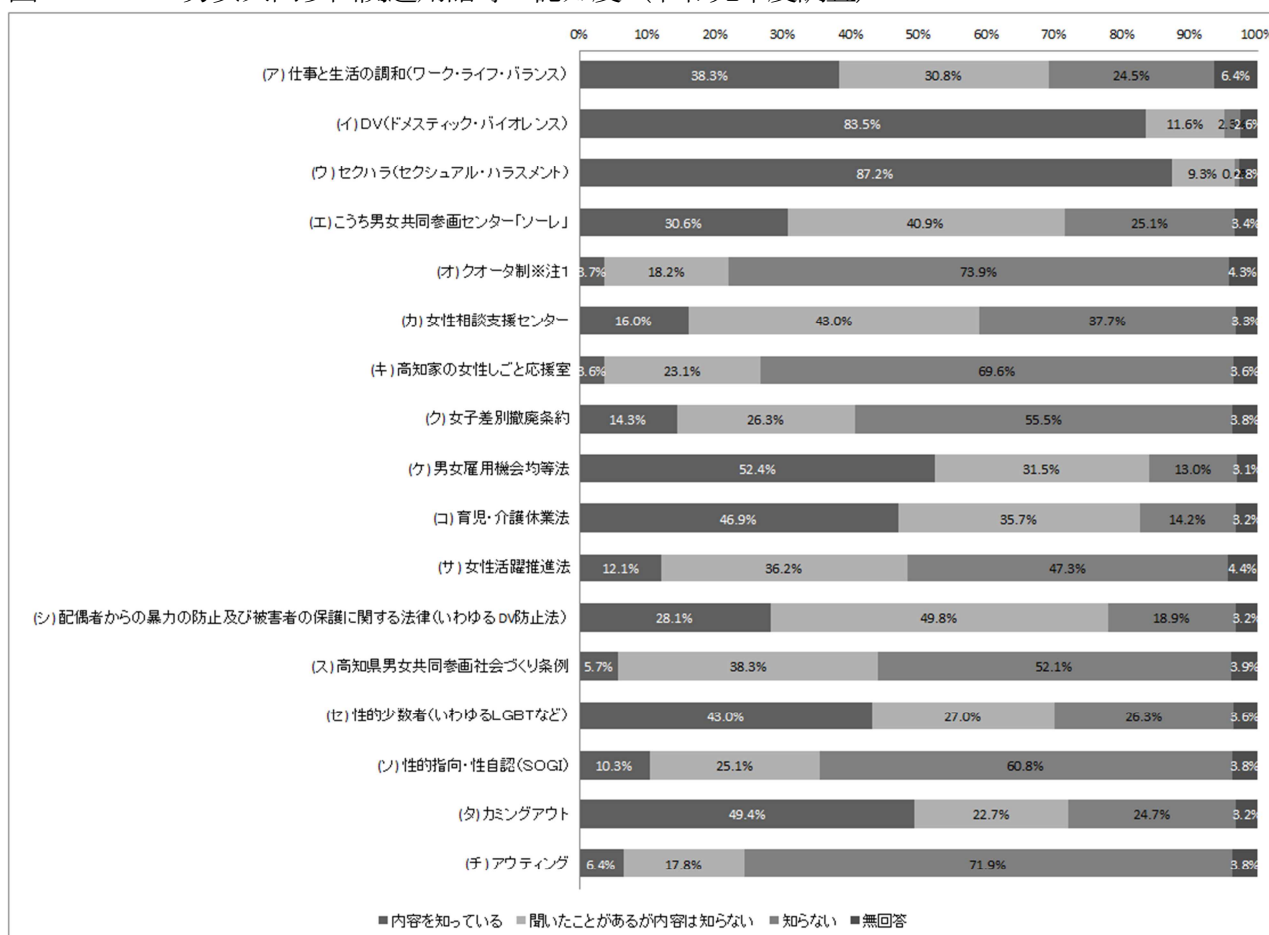
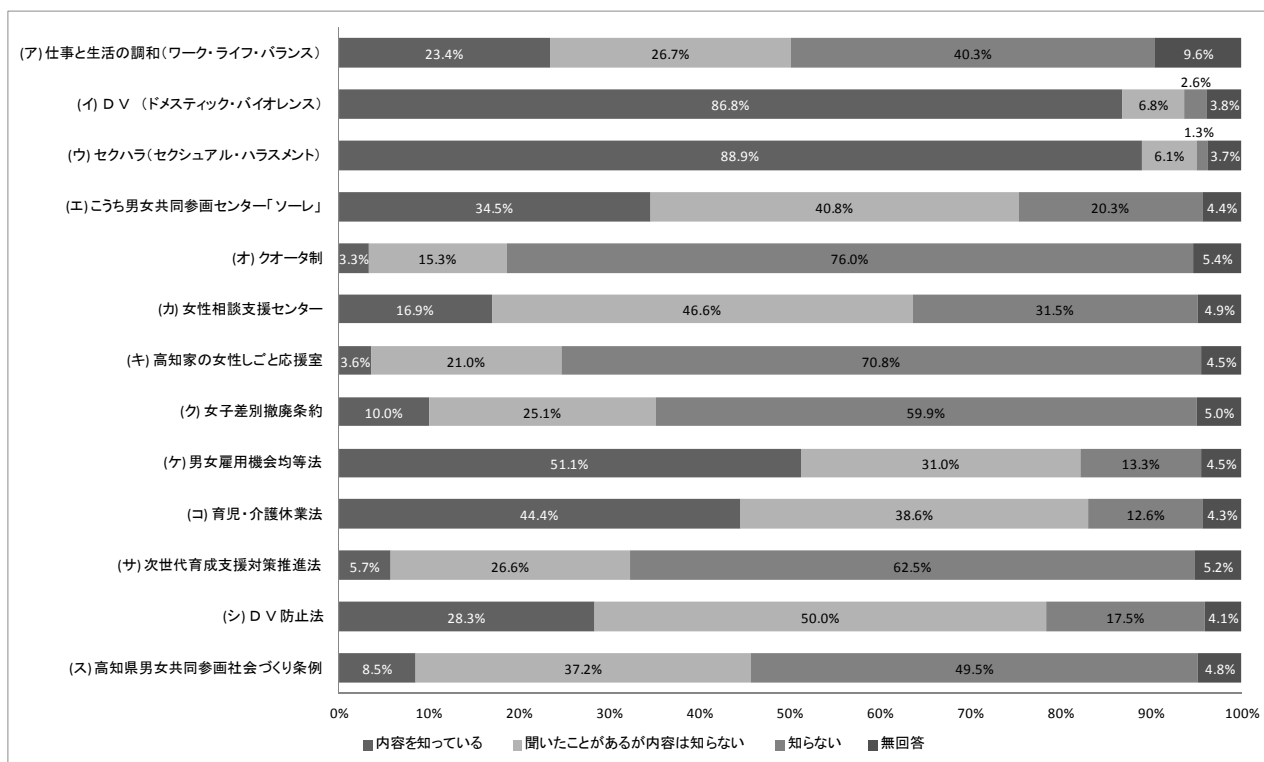


図11-2 男女共同参画関連用語等の認知度（平成26年度）



問12 あなたは、今まで以上に男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（3つまで〇印）

（回答者数 964人）

	選択肢	R1 調査	
		回答数	回答比率
1	法律や制度の面で見直しを行い、性別やジェンダーに基づく差別につながるものを改めること	245	25.4%
2	性別やジェンダーに基づくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	317	32.9%
3	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	231	24.0%
4	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	211	21.9%
5	女性の役職への登用や政策決定の場への参画を進めること	132	13.7%
6	労働時間を短縮するなど、性別にとらわれず家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること	354	36.7%
7	性別にとらわれず、誰もが生活者としての家事能力を身につけること	283	29.4%
8	誰もが平等に人権が尊重されるために、ジェンダーや性の多様性などについて相互理解を深めるための学習機会を充実すること	300	31.1%
9	その他	7	0.7%
10	わからない	96	10.0%
11	無回答	57	5.9%

図12 男女共同参画社会を実現するために力を入れていくべきこと

